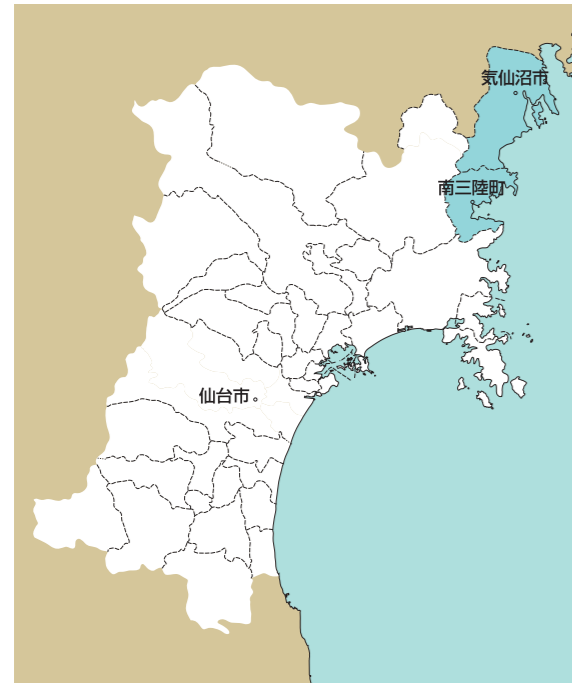


気仙沼・本吉エリア

気仙沼市 南三陸町



気仙沼・本吉エリアは、宮城県の北東部に位置し、気仙沼市、南三陸町の1市1町で構成されています。

南三陸町では平成28年6月、基幹産業である水産業の拠点として再建された「南三陸町地方卸売市場」で落成式が行われました。式典後には初競りが行われ、国際的な食品衛生管理方式のHACCPにも対応可能な高度衛生管理型の魚市場として再スタートを切りました。また、平成28年末まで仮設商店街として営業していた「南三陸さんさん商店街」が、平成29年3月に本設移転し、開業しました。

平成28年7月には、気仙沼市の災害公営住宅団地で最大の「市宮鹿折南住宅」の一部が完成し、入居が始まりました。市が全29地区2,087戸の整備を進めている災害公営住宅は、平成29年2月末までに28地区1,698戸が完成し、全体計画に占める進捗率は約81%となります。平成29年5月にはすべての整備が完了する予定です。

インフラ関連では、防災集団移転団地へのアクセス道路として、平成28年8月に「国道398号戸倉・波伝谷復興道路」が開通し、さらに、復興のリーディングプロジェクトとして整備が進められている三陸沿岸道路では、平成28年10月に「三滝堂IC～志津川IC間」が、平成29年3月には「志津川IC～南三陸海岸IC間」が開通しました。



志津川インターチェンジ(南三陸町)



気仙沼市内の災害公営住宅団地で最大規模の「市宮鹿折南住宅」(気仙沼市)

□気仙沼・本吉エリア

| | 地域合計 | 県内合計 |
|-------|---------|----------|
| 死者 | 1,835人 | 10,558人 |
| 行方不明者 | 430人 | 1,232人 |
| 全壊 | 11,626棟 | 83,001棟 |
| 半壊 | 2,749棟 | 155,129棟 |

(平成29年2月28日現在)

□応急仮設住宅入居者数

| | 平成24年4月 | 平成29年2月 |
|----------|---------|---------|
| プレハブ住宅 | 14,085人 | 3,729人 |
| 民間賃貸借上住宅 | 4,944人 | 930人 |
| 計 | 19,029人 | 4,659人 |

(平成29年2月28日現在)

□災害公営住宅整備(事業着手)状況

| | 平成28年2月 | 平成29年2月 |
|------|---------|---------|
| 計画戸数 | 2,871戸 | 2,825戸 |
| 着手戸数 | 2,871戸 | 2,825戸 |
| 完了戸数 | 720戸 | 2,321戸 |

(平成29年2月28日現在)

気仙沼・本吉エリアの定点観測

気仙沼市鹿折地区周辺

鹿折唐桑駅付近に流された船が撤去され、周辺では、災害公営住宅の建設やかさ上げ工事が進められています。



気仙沼市魚市場周辺

震災によって地盤沈下した土地のかさ上げ工事が完了し、現在は、新魚市場の建設工事が進められています。



南三陸町志津川中学校から眺めたまち並み

町全体が津波で被災しましたが、かさ上げ工事のために、たくさんの重機が稼働しています。



南三陸町立伊里前小学校から眺めたまち並み

平成29年春の完成を目指して、国道45号線沿いには新しい商業施設の建設工事が進められています。

